

## 第 173 回 計測技術委員会議事録（案）

日 時 2022 年 1 月 21 日（金） 14:00～15:40

場 所 Zoom によるオンライン開催

出席者 委員長 仲嶋（福山大）

副委員長 山田（産総研）

委 員 井上（三菱電機）、河村（アンリツ）、福本（佐賀大）

布施（電中研）、古川（横河電機）、松村（日大）

幹 事 作本（日大）、今池（日大）

幹事補佐 小平（日電検）、白井

### 資 料

173-1 2022 年度 計測技術委員会活動計画三次案

173-2 2022 年度 計測研究会実施計画三次案

173-3-1 2021 年度 計測技術委員会活動状況

173-3-2 計測研究会プログラム（11 月 26 日開催分）

173-3-3 計測研究会プログラム（12 月 16 日開催分）

173-3-4 計測研究会プログラム（2 月 21 日開催分）

173-4-1 令和 3 年電気学会 A 部門論文発表賞 A 賞割当数

173-4-2 令和 3 年優秀論文発表賞候補者

173-5 電気学会活動資金交付請求書

173-6 論文特集号計画

※ 運営委員会報告がなかったため、資料番号が変更となりました。

### 議 事

#### 1 前回議事録の確認

- ・異議なく承認された。

#### 2 2022 年度計測技術委員会活動計画及び計測研究会実施計画三次案

作本幹事より資料 173-1 及び 173-2 に基づき説明があった。

- ・二次案と同じ内容である。見学会は次回委員会で検討したい。
- ・計測研究会は 5 回開催し、11 月及び 2 月に 2 日間の開催を計画した。このうち、12 月と 2 月は合同研究会を予定する。
- ・研究会のテーマは二次案と同じで、5 月の研究会はオンラインで開催する。担当委員は資料のとおりである。

#### 3 2021 年度計測技術委員会活動状況

作本幹事より資料 173-3 に基づき説明があった。

- ・2021 年度の委員会は、第 173 回を含め 4 回開催した。

- ・見学会は新型コロナ感染症の影響で中止となった。
- ・研究会は3回実施済みで、12月の研究会はハイブリッド形式で開催した。2月及び3月の研究会はオンライン開催である。
- ・研究会をハイブリッドで開催する場合は、部門運営委員会からハイブリッド用マイクシステムを借用できる。機材は、運営委員会に申請すれば事務局から送付される。
- ・学生研究発表会は12月23日にオンラインで開催した。
- ・2022年度の見学会について、佐賀大学海洋エネルギー研究センターで開催することは可能である。研究会と同時開催となる場合には、移動の関係から研究会は1日の開催となる。
- ・関係者で11月の見学会、研究会、学生研究発表会の開催方法を検討し、次回委員会に諮りたい。

#### 4 優秀論文発表賞候補者について

仲嶋委員長より資料173-4に基づき説明があった。

- ・計測技術委員会への割当数は3（A賞1、部門表彰2）で、次点候補者を含め4名を推薦した。次年度の繰越数は-0.066である。

#### 5 活動資金交付請求について

仲嶋委員長より資料173-5に基づき説明があった。

- ・資料は、12月の横断的波動センシングシステム具現化協同研究委員会との合同研究会において、特別講演をお願いした久米先生への謝金請求である。

#### 6 電気学会論文誌A論文特集号について

仲嶋委員長より資料173-6に基づき説明があった。

- ・編修委員の関先生から、次の特集号の企画について検討依頼があった。
- ・以下の内容で仲嶋委員長から関先生に回答する。

掲載希望号：2023年7月以降、巻頭言：有り、エディタ：山田副委員長

次回 2022年5月20日（金）14時～17時 場所 未定

## IEEE 関係議事録

### 資 料

2021 年第 2 回 Chapter Meeting  
IM-09 活動報告 (2021.11.10)  
Annual Meeting 2021  
2022 年度 IEEE 学生研究発表会計画 (案)  
IEEE\_採点\_計算表 2021

### 議 事

- ・2021 年第 2 回 Chapter Meeting は 11 月 10 日に開催され、Chapter 支援に関するガイドラインについて詳細な報告があった。IM-09 からは協賛を行った計測研究会の内容、Chapter 支援費利用事業について報告した。
- ・2021 年 IM-09 総会は 12 月 23 日に開催され、Chair に山田副委員長、Vice chair に今池幹事が選出された。
- ・2021 年学生研究発表会の採点結果を集計し、Student Award 候補に横浜国大の清住氏が選出された。
- ・2022 年度学生研究発表会は、11 月及び 12 月の計測研究会開催に合わせて計画した。オンライン又はハイブリッドでの開催も検討したい。
- ・担当は木本先生、山田副委員長、今池幹事を予定するが、木本先生には、山田副委員長から担当の可否について確認する。

以 上